

中小企業景気動向調査

本調査は四半期ごとに実施しています

調査期間

2025年10～12月期

調査概況

- 調査目的 静岡県西部地域の中小企業の景気動向
- 調査対象 静岡県西部地域の中小企業658社
- 調査方法 調査票による面接聴取法
(遠州信用金庫、浜松いわた信用金庫に委託)
一般財団法人しんきん経済研究所が集計
- 調査内容 前回(25年7～9月期)と今回(25年10～12月期)との比較、
今回と比較した次回(26年1～3月期)の予想
- 調査時期 2025年12月1日～5日
- 回収状況 回収数634社(回収率96.4%)

景気動向判断指数について

この調査では、景気判断の基準として、DI (Diffusion Index)による分析方法を採用している。これは各質問項目で「良い」とみる企業の割合から「悪い」とみる企業の割合を差し引いた数値を時系列で観察することにより景況を判断する方法である。

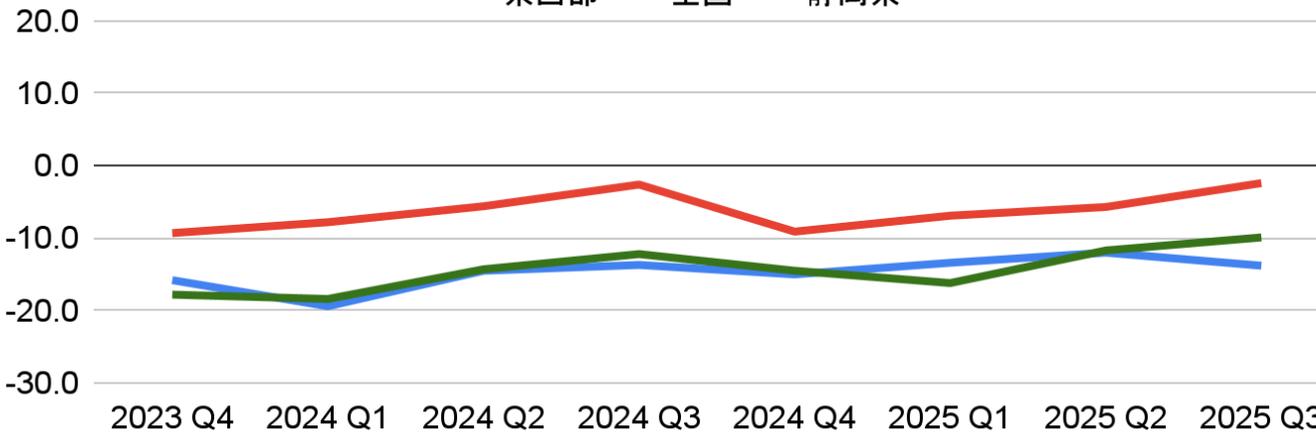
静岡県西部地域・業種別景況天気図

	全産業	自動車	二輪車	楽器	卸売	小売	建設	飲食、他
調査数	634	74	47	19	75	63	71	19
2025年 10～12月期								
2026年 1～3月期 予想								

*この天気図は、主要判断指数を総合的に判断して作成したものです。

業況DIの推移(全業種ベース)

— 県西部 — 全国 — 静岡県



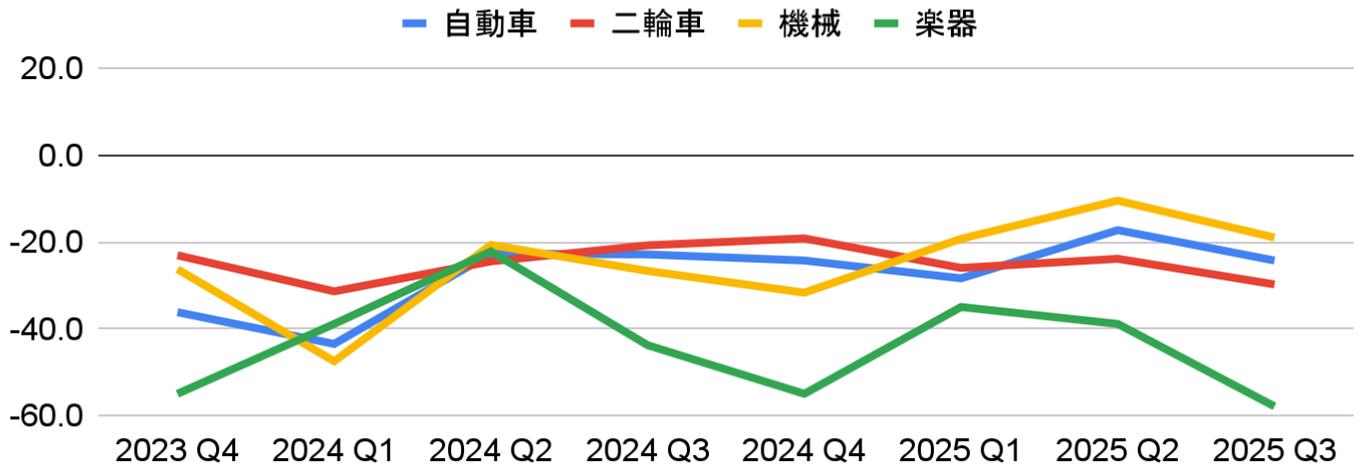
〈今回の景況〉

2025年10-12月期における静岡県西部地域の中小企業の景況感は、全産業ベースで-13.8となり、前回調査(-12.0)と比べて1.8ポイントの小幅悪化となった。製造業は「日中関係の悪化」懸念等を受け、自動車、機械、楽器が悪化した。一方、製茶は贈答品や抹茶需要の高まり等で大幅改善し、繊維も好調だった。非製造業では、価格転嫁が進んだ卸売が1年ぶりに改善したもの、小売は仕入価格高騰の影響で悪化、建設や飲食宿泊レジャーも小幅ながら悪化した。全体として、コスト高と海外情勢の不透明感が重石となり、改善の動きに足踏みが見られる。

〈次回の景況予想〉

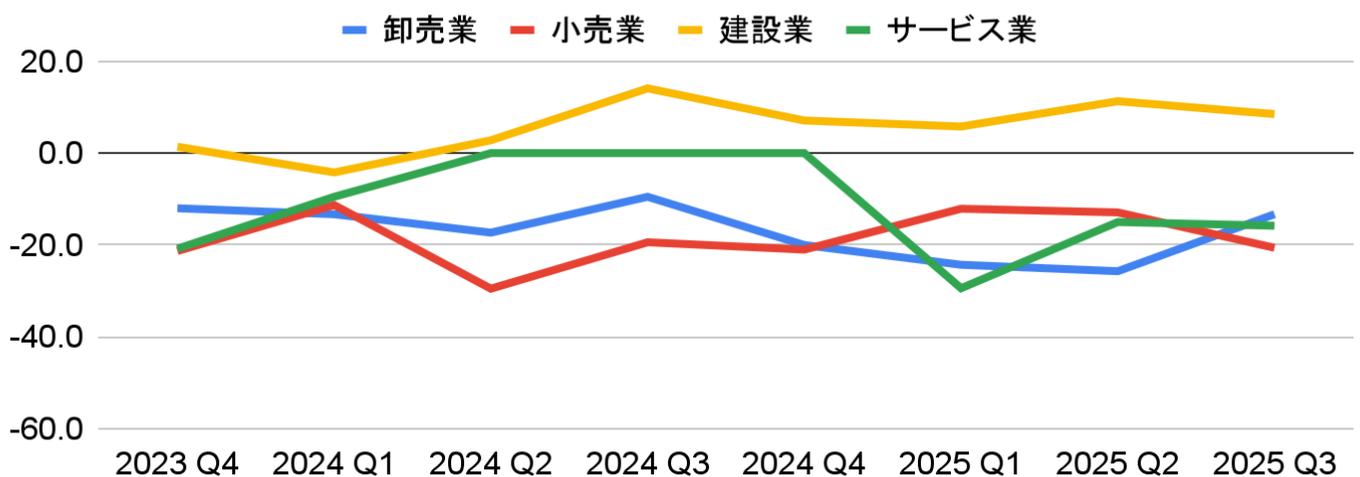
次回の景況予想は、全産業ベースで2.0ポイント悪化の-15.8を見込んでいる。製造業では、自動車、機械、楽器などで「日中関係の悪化」や「受注減少」を懸念し、さらなる悪化を予想している。非製造業では、小売が売上減少を見込み大幅な悪化を予想しているほか、飲食宿泊レジャーでは、台湾有事を巡る情勢不安等によるインバウンド減少を懸念する声が挙がっており、先行き不透明感が強まっている。建設はプラス水準を維持するものの、小幅悪化を見込む。

製造業における景況感(DI値)



〈自動車〉	〈二輪車〉	〈機械〉	〈楽器〉
DI値は7.0ポイント悪化の-24.3となり、2四半期ぶりに悪化した。トランプ関税への懸念は薄らいだものの、海外生産移管の進展による国内生産の減少が響いた。売上額DI、受注残DIともに悪化しており、業況は厳しい。	DI値は5.9ポイント悪化の-29.8となり、2四半期ぶりに悪化した。受注の波が大きく先行き不透明感が強いほか、材料費の高止まりが利益を圧迫している。一方で、インドなど海外取引先からの受注増を挙げる声も一部で聞かれた。	DI値は8.5ポイント悪化の-19.0となり、3四半期ぶりに悪化した。主要3項目(売上・受注残・収益)は改善傾向にあるものの、原材料高の継続や日中関係悪化への懸念がマインドを冷やし、業況判断の悪化につながった。	DI値は19.0ポイント悪化の-57.9と大幅に悪化した。中国の教育制度変更や景気悪化を受け、現地需要が低迷している。主要3項目(売上・受注残・収益)すべてが悪化しており、厳しい状況が続いている。

非製造業における景況感(DI値)



〈卸売業〉	〈小売業〉	〈建設業〉	〈飲食宿泊レジャー等〉
DI値は12.4ポイント改善の-13.3となり、1年ぶりに改善した。仕入価格の高騰が続く中、価格転嫁による適正価格での販売が進んだことで、売上額DIが大幅に改善し、収益DIの改善にもつながった。	DI値は7.7ポイント悪化の-20.6となった。販売価格の値上げを実施しているものの、それを上回る仕入価格の高騰が続き、収益を圧迫している。消費マインドの冷え込みも懸念されている。	DI値は2.8ポイント悪化の8.5となったが、6四半期連続でプラス水準を維持した。仕事量は豊富にあるものの、人手不足や材料価格の高止まりにより、受注を制限せざるを得ない状況が、利益確保の足かせとなっている。	DI値は0.8ポイント悪化の-15.8とほぼ横ばいの小幅悪化となった。材料価格の高騰や人件費の増加が利益を圧迫しており、今後においては日中関係の悪化によるインバウンド需要の減少を懸念している。